



世工振ニュース

編集・発行
 公益社団法人 世田谷工業振興協会
 〒154-0004 世田谷区太子堂 2-16-7
 世田谷産業プラザ 2階
 TEL (03) 3421-2863 FAX (03) 3422-4777
 E-mail: info@setagaya-ia.or.jp
 URL: http://www.setagaya-ia.or.jp/

「新年を迎えて」世工振 会長挨拶

謹賀新年



公益社団法人 世田谷工業振興協会 会長 片平 三郎

公益社団法人世田谷工業振興協会会員の皆様、遅くなりましたが、新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、よき新年をお迎えのことと思います。

と申し上げたいところですが、皆様方、既にご案内のとおり、新型コロナウイルス感染症の状況が昨年末から更に悪化し、1月7日からは緊急事態宣言が再び発令されております。昨年は、ほとんどの行事が中止あるいは書面・オンライン開催になり、じっと我慢の一年でした。

その私たちが、否、世界中の人類が、わずかな光を求めているのに、引き続き新型コロナウイルスがなお一層深い影を落としている年頭となっております。ワクチン開発などでいずれは終息するのでしょうか、今年も昨年以上に苦しい一年になるかもしれません。

翻って見ますと、我が国の経済は1990年代のバブル崩壊以降漂流し、その間、世界的な情報技術の躍進と、それに連動して一気に進んだグローバル化する世界に取り残され、一方で少子高齢化、頻発する自然災害、環境問題への対応など差し迫った課題は解決できないまま積み上がり、このような状態がコロナ禍で一気に明らかになって来た感を持っております。

このような時こそ、新たなビジョン新たな価値観に基づいた行動を起こすべきだと考えております。少し長くなりますが、お正月のある新聞報道を紹介させていただきます。それによりますと、『我が国政府も、興味深いことにコロナ禍で傷んだ経済の再生を、脱炭素や生態系の保全といった気候変動への取り組みと連動させようという機運が生じている。「グリーンリカバリー（緑の復興）」である。

「経済を回す」ことを単に取り戻すのではなく、環境に目配りし、次代の人類社会の姿を描きつつ、二兎を追う。』とありました。

私たち、公益社団法人世田谷工業振興協会の会員企業の皆様は、それぞれ業態・業種は異なりますが、次第に今ご紹介申し上げた国の政策に連動し、取引先などから新たな仕事も芽吹いてくるのではなかろうかと期待をしているところでございます。

が、なかなかこのような兆しが到達するまでには時間を要する可能性があります。そういう時だからこそ、皆様踏ん張っておられるでしょうが、今はともかく自分の足で踏ん張って、それぞれに進んで参りたいと思います。

いずれにしても、今年が、皆様にとって、良い年になりますよう、心より念願しておりますとともに、とどどもに切り拓いて参りたいと思います。

本年も工業会や地域の発展のために、お力添えいただければ幸いです。以上で新年の挨拶とさせていただきます。本年も何卒宜しく願い申し上げます。

(1月14日 新春経済講演会にてご挨拶)

保坂 展人 世田谷区長より新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

新しい年を迎え、世田谷工業振興協会の会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、皆様方におかれましては、日頃より、区内産業振興、地域経済の発展のためご尽力いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

昨年の新型コロナウイルスの感染拡大により、我が国の経済も深刻な打撃を受け、未だ収束の見通しも立っておりません。皆様におかれましては、事業上の困難やコロナ対策など、これまで経験したことのない厳しい状況の中、大変ご苦勞された年であったと存じます。

そのような状況の中、マスクや衝立を供給していただいたことで、区民の皆様が安心して行政サービスを受けられる体制をつくることができました。この誌面をお借りして重ねて御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルスは多くの産業に甚大な打撃を与えた一方、社会や経済もコロナの対応をきっかけに大きな変革の時代を迎えております。日常的にテレワークやWEB会議などが行われ、ITを活用した新たな活動形態が定着しました。今後もコロナ禍において、新たな価値観が生まれ、求められる製品も変容してくることが推察されます。

世田谷工業振興協会の皆様におかれましては、各企業が誇る高度な技術や技能を生かし、ウィズコロナ、アフターコロナの新しい時代においても、一層ご発展をすることを期待しております。

結びに、世田谷工業振興協会の益々のご発展と、会員の皆様のご健康とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



【世工振】新春経済講演会「コロナ後の世界と日本」を開催しました

新年早々の緊急事態宣言発令により講演会の開催は、会長の新年挨拶会に参加する一部会員企業様を除き、オンラインによるライブ配信となりました。

事前にいただいた質問や、ライブ視聴者様からのオンラインによる質問など、活発な質疑応答もあり、また会場アンケートでも「勉強になった」「非常に有益」「実際的な内容」と評価が高く、大変有意義な内容となりました。



- ◆ 日 時 1月14日(木) 15:00~16:15
(三軒茶屋キャロットタワー5階 文化生活情報センター)
- ◆ 演 題 コロナ後の世界と日本
- ◆ 講 師 大武 健一郎 (元国税庁長官、ベトナム簿記普及推進協議会理事長)
- ◆ 参加者 会場17名(世工振会員)、
オンライン参加者33名(世工振会員・一般)



- ◆ 概 要 コロナ対策で財政出動が行われた結果、株価上昇をはじめとした資産インフレが始まる。また、リモートワーク等の必要性により社会のIT化が加速。米国内、米中分断化のなか世界中が、資産とIT活用能力を持つ勝ち組と、持たない負け組に分断される。人口減少と超高齢化が進展する日本で、今後どの様な対応が必要となってくるのか？国の政策として必要な戦略、また企業や個人として必要な行動様式とは？など、具体的に、かつ分かり易くお話いただきました。